



はじめに・・・

和食ダム建設事業は県民のみなさまのご協力により着々と前進しております。さて今年度から、和食ダムに関連した工事の進捗や行事などをお伝えする「和食ダム便り」を定期的に発行します！**和食ダムをより身近に感じていただけるようなお便り**にしていきたいと思っておりますので、ご一読のほどよろしくお願い致します。

和食ダム建設事務所メンバー 自己紹介



所長 藤原 守男

この4月に和食ダム建設事務所にきました所長の藤原です。
芸西村の皆さまに“愛され親しんでもらえるダム”を目指して、安全で順調な完成に努めてまいります。これからもご理解ご協力を賜りますようよろしくお願い致します。



チーフ 下本 聖憲

和食ダムに着任して2年目になります。これから本格的に工事が進んでいきますが、交通安全には十分に気をつけていきたいと思っています。地域の方々に「ダムが出来てよかった」と思ってもらえるよう取り組んでいきますのでよろしくお願い致します。

主幹 川田 健康

和食ダム建設事務所へ赴任し、皆様にお世話になって早4年目となる川田です。
ダム建設により当地域の水環境を良くすることが自分たち本来の目的ですが、単に建設だけを意識するのではなく、地域を想い、そこで生活される方々の目線で考え、共に当事業を進めていく、「みんなで一緒に良いものをつくる」でがんばって参りたいと思います。よろしくお願いいたします。



主幹 三谷 竜一

今年度で3年目になる三谷です。主にダム堤体工事を担当しています。
施工業者と共にダムの早期完成に向けて尽力していきますので、地元の皆様のご理解ご協力を、よろしくお願い致します。



技師 酒井 健宏

今年度より和食ダム建設事務所に配属されました酒井です。
事務所の中では最年少になりますが、若さあふれるフレッシュパワーで和食ダムの早期完成に努めていきます。みなさまと一緒に和食ダムをつくっていききたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

交通安全を学ぼう

芸西幼稚園児、芸西小学生を対象に交通安全教室

4月16日、芸西幼稚園の園児、芸西小学生の児童を対象に、高知県警察、和食ダム建設事務所、和食ダム本体工事JVの協力で交通安全教室を開催しました。

その中ではダンプトラックの運転席に子供たちが乗車し、運転手の死角となる場所を実際に体験していただきました。「隅っこが見えん～」といった声も聞こえ、大型車が通行する際の危険性を感じていただけたと思います。

和食ダム本体工事では、今後、ダンプトラックの通行台数が増加します。安全には十分に配慮していきますので、みなさまのご協力をよろしくお願い致します。



横断歩道の渡り方を学ぶ園児（芸西小学校の運動場にて）

かっぱの名前、大募集

【応募用紙】

和食ダム建設事業で登場するマスコットキャラクターに名前をつけてあげてください！
採用された方及び名称については次回以降の新聞で発表させていただきます！（プレゼントあり！）
どしどし応募してください！

※応募者からご提供いただいたお名前、ご住所等の個人情報については、当募集及び当新聞にのみ利用し、厳重に取り扱いをさせていただきます。
※ご応募いただいた名称の権利は高知県に帰属し、今後使用させていただきます。

【愛称】

【住所】 〒 _____

【氏名】

【年齢】

【電話番号】



マスコットキャラクター

【応募方法】

- ①和食ダム建設事務所の郵便ボックスへ投函
応募用紙に必要事項を書いて投函
- ②FAX (0887-33-3405)
応募用紙に必要事項を書いて、この番号にFAX
- ③メール (takehiro_sakai@ken2.pref.kochi.lg.jp)
応募用紙の内容を書いて、このアドレスまで送付

締切
平成26年
6月30日



◆掘削作業が進んでいます◆

斜面上部の掘削を終え、法面保護工事に着手



ダムサイト左岸側から



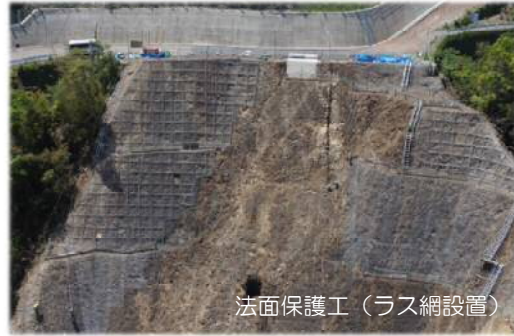
ダムサイト上流から



ダムサイト底部から

和食ダム本体工事では、両岸の掘削作業が進んでいます。特に左岸側ではロッククライミング工法と呼ばれる高所法面掘削機による掘削を行ってきました。この工法は斜面上部にアンカーを設置し、これと高所法面掘削機をワイヤーで結んだ状態で掘削を行うものです。

「転がり落ちそう！」という声も聞こえてきそうですね。現在はロッククライミングでの作業も無事終了し、法面保護工事などの施工にも着手している状況です。



法面保護工（ラス網設置）



和食ダムの目的って？

和食ダムの目的には大きく分けて治水・利水・環境保全の3つ

①洪水の調節（治水）

平成元年8月の豪雨では和食川沿いに広がる農地や下流の和食地区の住宅などを中心に浸水被害が発生しました。そのため、洪水調節を行うことができる和食ダムを整備することにより、芸西村民が安心して生活できるような地域づくりを行います。



浸水状況



和食ダムイメージ

②水資源を活かす（利水）

和食川は流域面積が小さく、降雨も短期間に集中することが多いため、梅雨時期を除き水量の乏しい時期が多い地域です。このため、農業用水及び水道用水の安定した供給ができないこともしばしばあります。また、今後、下水道事業のひろがりや老人介護施設等の新規の水需要も見込まれています。

和食ダムでは10年に1回程度の渇水でも、十分な水量を確保できるような貯水池を整備し、新たな水道用水として1日最大1,000m³を供給できるダムの構造にしています。



和食川環境学習会のようす

③和食川の環境を守る（環境保全）

和食ダムの整備により安定した河川流量を流すことで、生物の生息場所の確保や川らしい景観の保全など、これからの子供たちが安心して川と触れ合えるような環境をつくりたいです。